

(様式 7)

令和 4 年度 柏市地域活動支援補助金 活動報告書			
団体名		増尾町会	
代表者			
事務所所在地			
担当者 連絡先	氏名		
	住所		
	電話		
	Eメール		
会員数		2600 世帯 (役員 45 人)	
補助金 対象 事業 につ いて	分野〔交流イベント等〕 事業名〔「民話の里づくり」プロジェクト〕		
	① 事業の目的 (解決すべき地域課題等)		
	増尾町会には古くから言い伝えられた民話が沢山あります。その文化的価値を伝承、普及するために民話に登場する場所を柏市観光協会などの専門家の力を借りて特定してもらい、周辺を含めてウォーキングコースや散策路を提案します。さらに、特定された場所を中心に「民話の里」にふさわしい環境整備を行います。また、これらの活動を通して、地域交流の促進をはかり町会員の地域への愛着を深めていきます。		
	② 事業実施内容 (対象事業についてのみ記載)		
	※概要, 実施時期, 参加人数等を具体的に記入, 写真等も添付可		
	○民話講演会 (2022. 6. 20) 土小学校において約 100 名の参加のもとに開催。市長より挨拶をいただいた。講師は柏市観光協会事務局長 中島氏		
	○民話看板の製作、設置 2022. 8. 11 (2 か所) 2022. 10. 23 (2 か所) 2023. 2. 19 (1 か所) 土小学校児童との共同製作、参加者延べ人数 70 名		
	○民話の里マップの企画、作成、4000 部発行 (2023. 3. 12) マップのデザインは芝浦柏高等学校美術部に依頼 写真等は別添		
	③ この事業に携わった団体関係者		
	※人数, 肩書, 募集方法等を具体的に記入		
○土小学校: 梅津校長他教員 (10 名)			
○柏市観光協会: 中島事務局長			
○芝浦柏高等学校: 中根校長、美術部江森先生、生徒 (10 名)			
○民話の里づくりプロジェクトチーム (15 名)			
○増尾町会常任役員 (30 名)			

補助金対象事業について	④目標達成度 ※別紙「実績報告書類記入上の注意」の2ページを参照		
	目標①	講演会の開催により増尾地域が歴史的に見ても民話の里にふさわしいことを広く町会員に伝える	達成度
		B	【特記事項】 会場の都合、コロナ禍のもとで人数を100名に制限して開催したが、目標通りの参加数で実施できた。また、市長に挨拶をいただくことができた。
	目標②	民話の場所を特定し、民話看板を設置する	達成度
		A	【特記事項】 年初4か所の設置を目標としていたが、5か所に看板を設置することができた。また、経費節約のため手作り看板としたが、専門家の指導を得て、民話看板にふさわしい色調の看板を作ることができた。さらに、土小学校の児童との共同での製作作業を実施することで、地域への理解を深めることができた。 民話看板の設置にあたり柏市公園緑地課の理解を得て、設置の許可を得ることができた。
	目標③	民話の里マップの作成配付	達成度
		B	【特記事項】 民話の里マップのデザインを芝浦柏高等学校美術部にお願ひして作ることができた。民話の里の雰囲気や漂う地図は広く町会外部の人たちへ民話の里をアピールできるものと考えている。また地図作成の機会を得たことにより、今後芝浦柏高等学校との交流を深めるきっかけを作ることができた。
目標④	ウォーキング講座の開催により民話巡りコースを確認する	達成度	【特記事項】 設定したコースを人数制限をしたうえで一般の参加者を加えて試しウォーキングを実施した。所要時間やウォーキング途中の見どころなどを参加者全員で確認することができた。
	目標⑤	達成度	【特記事項】
⑤この事業の今後の継続について、次年度以降の目標について			
この事業はまだ緒に就いたばかりであり、長期にわたって継続する予定である。令和5年度は、①民話の里に含まれる9か所の坂道のうち2か所程度の坂道について場所を確認して案内板などを設置する。②追加の民話を模索して看板を設置し広める。③民話の里の中心部にコミュニティスペースを確保し、休憩スペースに四阿を設置する。④このほか民話の里フェスタを開催し民話の読み聞かせ会を実施するなど多くの機会を捉えて民話の里を町会員のみならず幅広く多くの人に紹介していく。			
⑥同様の事業を行う予定の団体へのアドバイス			
まだ事業開始から1年しかたっており、他団体へアドバイスできるような内容は持ち合わせていません。			

--

※この報告書はホームページの公開を予定しております

※報告書に書ききれない場合は、別紙に記載して、本報告書に添付してください。（その場合、対象事業のみ、記載してください。）

(様式6)

活 動 費 等 明 細 書 (1回目用)

団体名

増尾町会

項 目	件名 (積算根拠)	予算額 (補助対象経費)	支出額	備考
備品購入費	民話看板製作材料	120,000	28,867	①
	民話看板製作材料		29,429	②
	民話看板印刷代 (2枚)		19,800	③
	民話看板印刷代 (3枚)		33,000	④
	民話看板用町会名プレート (5枚)		26,492	⑤
報償費 (講師謝 礼等)	看板デザイン代	10,000	0	
需用費 (消耗品, 印刷 製本, 修繕等)	民話の里マップ印刷費 (A4版 4000部)	40,000	11,250	⑥
役務費 (通信運 搬費, 手数料等)				
委託料・使用料 及び賃借料 (会場設営・賃 借, 備品質借等)				
小計 (A)		170,000	148,838	
旅費 (交通費等)				
小計 (B) ※補助対象経費 (D) の20%が上限		0	0	
その他 (団体の活動に 必要な事業費)				
小計 (C)		0	0	
合計D (A+B+C)		170,000	148,838	〃
既補助金交付額 E			100,000	
補助金交付精算額 F (D×9/10)			100,000	(上限額100,000)
戻入額 G (E-F)			0	

【記入上の注意】

支出額は別添領収書(写)の合計と合致するようにしてください。また、領収書は各項目ごとに整理して添付してください。

件名は申請時に添付した事業収支予算書または中間検査で提出した活動費中間収支報告書と同一にしてください。

申請書に記載した内容とは別に支出した場合は、申請時の件名の下欄に記入し、支出額のみ記載してください(補助事業の目的と著しく相違がある場合は補助金の対象とはなりません)。

予算額は事業収支予算書の「左記のうち補助対象経費」に記入した額を記載してください。

民話の里づくりプロジェクトチーム活動状況



2022.6.20
民話講演会（土小学校）



2022.7.17
民話看板製作



2022.10.23
民話看板設置



2022.10.23
民話看板設置完了



2022.11.3
民話の里めぐりウォーキング



2022.11.3
民話の里めぐりウォーキング



増尾民話の里づくりプロジェクトでは、2022年(令和4年)6月に「まずお今昔ものがたり～民話の中の増尾村～」と題した柏市観光協会の中島氏の講演を柏市長をはじめとする沢山の来賓をお招きし土小学校体育館で開催しました。
この講演では、増尾に今も伝わる民話とその歴史的背景について、住んでいても知らないような興味深い話を100名を超える参加者と一緒に聴きました。



土小学校体育館にて



2022年8月に堂谷第2公園と鷲ノ山公園の2か所に「常使えのムジナ退治」と「鷲山のむじな」の民話看板を設置。また、10月に廣幡八幡宮境内と妙見堂跡の2か所に「厄病おん出し」と「まれいど」の民話看板を、そして今年2月には幸谷第1公園に「バクちぶちのシー」の民話看板を設置しました。

民話看板製作の様子



土小の6年生と一緒に



民話看板設置の様子





知っていますか？

この増尾に、多くの民話が

まねいど 民話の里づくり



語り継がれていることを！

一緒に伝えていきませんか？

民話の里めぐり
ウォーキング



活動概要

- 2023年(令和3年)11月、増尾町全内に「民話の里づくりプロジェクト」を結成し活動を開始する。
- 古くから住む地域住民はもちろん、新しく居住する方々にも増尾の素晴らしさを感じてもらおう取り組みとして増尾地域に伝わる民話を通じた地域づくりを行っています。
- 柏市からの支援を得て活動を進めています。
- 柏市文化財保存活用計画の団体に選ばれています。

今後の活動

今後も民話を通じ、増尾に住む方々が地域への愛着、誇りをもってもらえるよう下記の取り組みを柏市文化課、観光協会、近隣の学校と連携し活動する予定です。

- 民話の小径づくり
- コミュニティスペース(休憩場所)づくり(馬洗戸(まれいど)周辺)
- 民話の里ウォーキング、地域探検ウォーキング
- 案内マップの作成
- 坂道の調査
- 屋号プレート

メンバー募集！
私たちと一緒に町づくりしませんか。
応募要 無料まで

※民話などは
柏市観光協会提供



詳細は柏市観光協会HP
(柏のむかしばなし)をご覧ください。

「増尾民話の里づくりプロジェクト」とは

増尾町会内には古くから住む住民、新しく居住を始めた住民が約 **2500 世帯 7500 人** が住んでいます。

増尾地域には、少林寺、萬福寺、妙蓮寺という 3 つの歴史ある寺院や平安時代の創建と伝わる廣幡八幡宮があり、緑豊かな里山が広がる歴史ある町です。

柏市観光協会が柏市内にある 44 の民話を紹介していますが、増尾には最も多い **6 つの民話** があります。

町会住民のみなさまは、このような増尾地域のことをどれくらい知っていらっしゃるでしょうか？

民話を通じて、歴史があり豊かな自然が残る増尾の素晴らしさをみなさまに感じてほしい。地域への愛着・誇りを持っていただきたい。

このような思いから、「増尾民話の里づくりプロジェクト」の活動を 2021 年（令和 3 年）11 月から始めています。

今までの活動

2022 年（令和 4 年）6 月に土小学校体育館にて「ますお今昔ものがたり～民話の中の増尾村～」と題した講演会を開催しました。

柏市観光協会の中島事務局長の講演に、太田柏市長はじめ 100 名を超える人が参加しました。

8 月、民話のお話しの拠点 2 箇所に「民話看板」を設置。11 月、さらに 2 箇所に「民話看板」を設置するとともに「民話の里めぐりウォーキング」を開催しました。

今回、芝浦工大柏中高美術部顧問の先生の協力を得てこの「MAP」を作成しました。

今後の活動

「民話の里づくり」に向けて、以下の活動を計画しています。

「妙見堂近くの『民話の小径』の整備」

「民話めぐりウォーキング会」

「屋号プレート設置」

「『まれいど』近くへの東屋設置」

①まれいど（馬洗戸）

まれいどは、相馬の殿様の馬を洗った場所と言われています。増尾を含む地方を支配していた相馬氏はその後、現在の福島県に移封されました。

江戸時代の参勤交代では、江戸に出るたびに増尾の妙見堂にお詣りしていました。

妙見堂で祭りの準備をしながら、相馬の殿様やお城に由来する屋号について話す村人たちのおはなし。

（場所：妙見堂跡）



②厄病おん出し

増尾村で疫病が流行ったとき若い衆が廣幡八幡宮の神輿を担いで村中を練り歩いて、病人のいる家を回ると、みるうちに病状が回復した、というおはなし。

（場所：廣幡八幡宮境内）



③カラス天狗と祭り見物

遠い遠い西の方で行われる祭りに行きたくて仕方がないおばあさんのところに小坊主に化けたカラス天狗がやってきて、おばあさんを祭りに連れて行ってやりました。



その夜、「見てはいけない」との約束を破っておばあさんが障子を開けて見てしまうと・・・、というおはなし。

（場所：増尾ふるさと会館）

④常使えのムジナ退治

「ひらが」という屋号の大きなお屋敷に奉公するおじいさん。

背中に負ぶさってきた悪さばかりするムジナを退治して、ムジナ汁にしてしまった、というおはなし。

（場所：堂谷第二公園）



⑤鷲山のむじな

“おものおっかあ”の温かい背中で眠るのが大好きなむじな。恩返しに、春秋にはタケノコや松茸が家の前に置かれるようになった、というおはなし。

（場所：鷲の山公園）



⑥バクチぶちのシー

バクチぶちのシーと呼ばれた博徒の男がむじなに化かされ気がつくと芋畑の真ん中でふんどしの端っこをくわえていた、というおはなし。

（場所：幸谷第一公園）



民話などは、柏市観光協会提供

詳しくは、柏市観光協会のホームページ（柏のむかしばなし）をご覧ください。



歴史探訪、民話（増尾むかしばなし）

MAPを見て、「増尾の歴史」を楽しんでください

2023033000



増尾民話の里 MAP

増尾の民話

- ① まれいと
- ② 厄病おん出し
- ③ カラス天狗と祭り見物
- ④ 常使えのムジナ退治
- ⑤ 鷲山のむじな
- ⑥ バク千ぶちのシー



筑波山

至る大津川

芝浦工業大学柏中学校高等学校

宮根遺跡

民話の小径

増尾城址公園

廣幡八幡宮

県立柏南高等学校

妙見堂跡

① まれいと

② 厄病おん出し

少林寺

萬福寺

伊藤家住宅

道祖神



柏市立土中学校



増尾近隣センター



増尾郵便局

⑥ バク千ぶちのシー

増尾の神社仏閣

- ① 妙見堂跡
- ② 萬福寺
- ③ 少林寺
- ④ 廣幡八幡宮
- ⑤ 妙蓮寺

増尾ふるさと会館

柏市立土小学校

③ カラス天狗と祭り見物

幸谷城館跡

不動明王

ニッカウモスキー
柏工場

④ 常使えのムジナ退治

民話

増尾の史跡、遺跡

- ① 宮根遺跡
- ② 増尾城址公園
- ③ 幸谷城館跡

⑤ 鷲山のむじな

増尾駅

妙蓮寺

東武アーバンパークライン